

令和元年度

羽幌町教育委員会
点検・評価報告書

(平成30年度事業対象)

令和2年2月

も く じ

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 趣旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の流れ	
	(4) 学識経験者の知見の活用	
2	教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	(1) 教育委員会議の開催及び審議状況	
	(2) 教育委員会議以外の活動状況	
3	点検・評価報告書・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	《学校教育》	
	(1) 教育を推進するための条件整備	
	(2) 教育環境の整備	
	(3) 地域とともにある学校づくり	
	(4) 教育の質を高められる環境づくり	
	(5) 心身ともに健全な人間性と社会性を育む環境づくり	
	(6) 高等学校教育の振興と幼児教育の推進	
	(7) 学校給食の充実	
	《社会教育》	
	(1) 幼児・青少年教育	
	(2) 成人教育	
	(3) 家庭教育	
	(4) 健康づくり、スポーツ活動	
	(5) 文化活動	
	(6) 読書活動	
4	参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・	18
	平成30年度 羽幌町教育行政執行方針	

1 はじめに

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会において、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

このことを受け、羽幌町教育委員会としては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、毎年度、教育委員会の点検・評価を行うことといたしました。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等のほかに、「平成30年度教育行政執行方針」に掲げられた主要な事業の実施状況について点検・評価の対象としました。

(3) 点検・評価の流れ

「点検・評価報告書」については、「平成30年度教育行政執行方針」に掲げられた主要な事業の内容、事業成果、自己評価等を所管課が行いました。

(4) 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った教育委員会の活動状況や施策の実施状況について点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見・助言をいただきました。

【点検及び評価に関する意見・助言をいただいた方】

学識経験者 氏名：森 弘 子 役職等：元小学校長

【意見・助言】

- 「羽幌町教育行政執行方針」のもと、具体化する教育が推進されている。今後も、学校・家庭・地域と連携し、情報の共有を図りながら努めてほしい。
- 教育環境の整備を図りながら、学校・指導訪問、研究発表会を開催し、専門職としての資質・能力の向上に努められている。今後も一層の研鑽に期待したい。

○地域の方々の協力を得ながら、多彩な体験活動、健康・スポーツ・文化教室（講座）を開催し、心身ともに健康で充実した生活を担う活動が推進されている。

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会議の開催及び審議状況

期 日	案 件 等
4月27日	〈議案〉 ・羽幌町社会教育委員兼羽幌町公民館運営審議会委員の委嘱について
7月31日	〈協議〉 ・武道館設計案について 〈報告〉 ・教科用図書採択について
8月24日	〈協議〉 ・平成30年度全国学力・学習状況調査の結果公表について
10月15日	〈報告〉 ・羽幌町教育委員会委員について ・平成31年度羽幌町立高等学校入学者選抜実施要項の策定について
12月5日	〈議案〉 ・天売高校学生寮の設置及び管理に関する条例の改正について ・平成31年度教育費（臨時費）予算要求について 〈協議〉 ・全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果公表について
1月31日	〈議案〉 ・羽幌町立学校管理規則の一部を改正する規則について
2月12日	〈議案〉 ・平成31年度羽幌町教育行政執行方針について ・平成31年度羽幌町教育予算に意見を申し出ることについて ・平成30年度羽幌町優良青少年顕彰被顕彰者の決定に関する意見について ・平成30年度羽幌町文化賞体育賞、羽幌町青少年文化賞スポーツ賞に係る受賞者の選考について

3月29日	〈議案〉 ・羽幌町立学校職員の人事の内申について ・羽幌町教育委員会の所管に属する職員の人事について ・羽幌町奨学基金貸付者の決定について
-------	--

(2) 教育委員会議以外の活動状況

期 日	内 容 等
4月 2日	羽幌町教育委員会辞令交付式
3日	羽幌町立学校教職員着任式
6日	羽幌町立羽幌小学校入学式
6日	羽幌町立羽幌中学校入学式
6日	羽幌町立天売小中学校入学式
6日	羽幌町立焼尻小学校入学式
8日	北海道天売高等学校入学式
9日	北海道羽幌高等学校入学式
10日	北海道小平高等養護学校第23回入学式
11日	第1回留萌管内市町村教育委員会教育長会議
11日	第1回第7採択地区教科用図書採択委員会協議会
12日	羽幌町子ども会育成連絡協議会総会
13日	羽幌町議会第3回臨時会
13日	羽幌町文化協会定期総会
17日	いちい大学入学式
18日	留萌管内市町村教育委員会協議会役員会・総会・研修会・懇談会
19日	羽幌町教育研究協議会総会
20日	第1回公立高等学校配置計画地域別検討協議会
26日	留萌管内図書館振興協議会総会
5月10日	北海道教育委員連合会総会・教育懇談会
11日	第1回羽幌町社会教育委員会議兼公民館運営審議会委員会議
13日	第38回全日本バレーボール小学生大会北北海道大会留萌地区予選会
14日	町立学校校長教頭合同会議
14日	教育行政懇談会
17日	留萌教育局義務教育指導監学校経営指導訪問（羽幌中学校）
20日	第28回羽幌町子どもフェスティバル
23日	町定期監査（焼尻小中学校・天売小中学校）

24日	町定期監査（天売高等学校）
25日	羽幌町小中高生徒指導担当者連絡協議会総会
26日	羽幌町子ども自然教室開校式
28日	留萌教育局長学校訪問（羽幌小学校・羽幌中学校）
30日	留萌管内コンプライアンス確立会議
30日	留萌管内女性教員活躍推進会議
30日	留萌管内学校における働き方改革推進会議
30日	留萌管内公立小中学校教職員人事推進会議
31日	第1回オロロンライン全道マラソン大会実行委員会議
6月 2日	第72回羽幌中学校体育大会
3日	島民大運動会（焼尻地区）
3日	島民大運動会（天売地区）
6日	留萌教育局長学校訪問（焼尻小学校・天売小中学校・天売高等学校）
8日	第66回北海道公立文教施設整備期成会定期総会
10日	羽幌小学校大運動会
14日	留萌教育局義務教育指導監学校経営指導訪問（焼尻小学校）
14日	羽幌町議会第4回定例会（15日まで）
15日	留萌管内小中学校教頭研究協議会
20日	スキー場リフト運行に係る索道運輸安全マネジメント評価ヒアリング （21日まで）
21日	羽幌町青少年問題協議会幹事会
22日	羽幌町青少年問題協議会
26日	学校給食運営委員会
27日	留萌地方中体連バスケットボール大会
28日	第1回まちづくり政策会議
7月 2日	羽幌町通学路安全推進会議
2日	留萌教育局義務教育指導監学校経営訪問（羽幌小学校）
12日	第55回北海道市町村教育委員会研修会
12日	学校教育指導訪問（義務教育指導班）（羽幌小学校）
13日	学校教育指導訪問（義務教育指導班）及び羽幌町教育研究協議会公開 研究会「天売大会」（天売小中学校）
13日	第2回オロロンライン全道マラソン大会実行委員会議
14日	天売高等学校オープンスクール（15日まで）
17日	羽幌町立小中学校校長会議

19日	羽幌町文化調査委員会議
19日	留萌教育局義務教育指導監学校経営指導訪問（天売小中学校）
20日	第41回旭川更生保護女性連盟大会
20日	学校教育指導訪問（義務教育指導班）（羽幌中学校）
20日	学校ブックフェスティバル
20日	羽幌町議会第5回臨時会
20日	町政懇談会（市街地区）
23日	第2回第7採択地区教科用図書採択委員会協議会
23日	第2回公立高等学校配置計画地域別検討協議会
23日	第2回留萌管内市町村教育委員会教育長会議
24日	学校教育指導訪問（義務教育指導班）（焼尻小学校）
29日	第40回オロロンライン全道マラソン大会
31日	内灘町羽幌町文化体育交流事業団結式
8月 1日	児童図書室講座「夏のモバイルづくり」
2日	内灘町羽幌町文化体育交流事業（5日まで）
6日	オロロンライン全道マラソン大会実行委員会議
7日	遠別町しらかば学園大学・羽幌町いちい大学交流会
20日	戦没者追悼式
28日	離島地区町政懇談会（29日まで）
9月 1日	歌と踊りの交流まつり（文化協会主催）
5日	第2回留萌管内学校における働き方改革推進会議
12日	羽幌町議会第6回定例会（14日まで）
16日	天高祭（17日まで）
18日	第3回羽幌町立小中学校校長会議
25日	おろちゃんマラソン実行委員会
25日	指導方法工夫改善加配事業実地検査
26日	第52回留萌地区教育経営研究会
28日	留萌教育局義務教育指導監学校訪問（焼尻小学校）
10月 2日	第2回留萌管内公立小中学校教職員人事推進会議
4日	文教厚生常任委員会
6日	ちびっこランド・小中学校合同文化祭（7日まで）
7日	羽幌中学校文化祭
13日	焼尻小学校文化祭
14日	羽幌小学校学芸会

16日	教育委員任命式
17日	第5回羽幌町立小・中学校校長会議
22日	留萌教育局義務教育指導班 指導主事訪問（天売小中学校）
22日	羽幌町通学路安全推進会議
22日	社会教育永年勤続表彰
22日	読書感想文コンクール
23日	羽幌町議会第7回臨時会
23日	社会教育・PTA 研究大会
25日	北海道町村教育委員会連合会教育長部会研修会（三委員会）
27日	町民芸術祭展示部門（29日まで）
30日	萌管内市町村教育委員会研修会
11月 3日	町民芸術祭舞台部門
9日	第31回留萌管内学校体育研究大会羽幌大会
16日	羽幌町功労・功績者表彰式及び祝賀会
20日	留萌管内市町村教育委員会教育長部会研修会及び意見交換会
21日	留萌教育局義務教育指導監訪問（羽幌中学校）
28日	おろろんウインターフェスティバル実行委員会
29日	第2回羽幌町社会教育委員兼羽幌町公民館運営審議会委員会議
12月 4日	羽幌町教育研究協議会講演会
6日	羽幌町議会第8回臨時会
13日	羽幌町議会第9回定例会（14日まで）
17日	公立高校管理職人事協議
18日	いちい大学「忘年の集い」
19日	第6回町立小中学校校長会
20日	第3回留萌管内市町村教育委員会教育長会議及び教育懇談会
1月10日	羽幌町校長教頭合同研修会
13日	成人式式典
18日	いちい大学「新年の集い」
24日	留萌管内教育実践表彰
25日	留萌教育局義務教育指導監学校経営指導訪問（天売小中学校）
27日	町民スキー場「びゅー」まつり
29日	室田憲作氏「瑞宝双光章」受賞を祝う会
30日	第1回羽幌町防災会議
2月 3日	第30回おろろんウインターフェスティバル

6日	第7回羽幌町小中学校校長会議
7日	羽幌町教育研究協議会研究発表大会
8日	公立高校及び特別支援学校教職員人事異動に係る第三次協議
8日	退職者激励会
12日	羽幌町総合教育会議
14日	羽幌町議会第1回臨時会
15日	北部留萌地区特別支援教育研究連盟第3回合同学習会
18日	おろろんウインターフェスティバル実行委員会
28日	第3回羽幌町社会教育委員会並びに羽幌町公民館運営審議会
3月 1日	北海道天売高等学校第60回卒業証書授与式
1日	第69回北海道羽幌高等学校卒業証書授与式
4日	いちい大学卒業式並びに終業式
4日	羽幌町優良青少年顕彰式・羽幌町文化賞体育賞顕彰式・羽幌町青少年文化賞スポーツ賞表彰式・羽幌町文化協会賞及び羽幌町体育協会スポーツ賞表彰式
5日	羽幌町議会第2回定例会（8日まで）
9日	北海道小平高等養護学校第21回卒業証書授与式
12日	第72回羽幌中学校卒業証書授与式
15日	羽幌町立天売小中学校第72回卒業証書授与式
17日	位記（従五位）伝達「故菅野薫氏」
20日	羽幌小学校第127回卒業証書授与式
24日	コオーディネーショントレーニング普及事業
26日	第8回羽幌町立小中学校校長会議
26日	羽幌町校長・教頭激励会
27日	第2回留萌管内教育研究所管理委員会
27日	第4回留萌管内市町村教育委員会教育長会議
29日	羽幌町体育協会設立70周年記念祝賀会

3 点検・評価報告書

《学校教育》

(1) 教育を推進するための条件整備

事務事業名	事業内容及び点検
情報通信機器を有効活用した多様な学習の展開	天売高等学校において、学習用 PC（教諭用 1 台、生徒用 5 台）を導入しました。他の学校においても、引き続き情報機器の導入及び更新を図り、多彩な学習展開を図れるよう整備していく必要がある。
学校図書 の 整備 及び 活用 の 推進	平成 29 年度から 4 カ年計画として「学校図書館図書整備計画」を策定し、現蔵書から社会の変化や学問の進展により誤った情報を記載しているおそれのある図書の適切な廃棄・更新を合わせ、学校図書館図書標準（平成 5 年 3 月文部省策定）で定める図書標準冊数に達成するよう整備を行う。
義務教材・理科教材の整備	理科教材をはじめ、各教材の更新を行った。引き続き計画的に教材の整備及び更新を図る必要がある。
英語指導助手の配置	<p>英語教育の指導方法向上と教育内容の充実を図るため、児童生徒が英語を理解し、英語を用いて表現できる基礎的な能力を養いコミュニケーション能力の醸成を目的として配置している。</p> <p>新学習指導要領の実施（小学校は令和 2 年度、中学校は令和 3 年度）を踏まえて学習指導方法の改善や英語指導助手の更なる活用が見込まれる。</p>
特別支援教育の支援	<p>発達障害のある児童生徒や、多動性・軽度の情緒障害などがある児童生徒が集団の中で学習を進める中で、支援員を配置し教職員と子ども達に対し、きめ細かなサポート体制を構築する。</p> <p>また、特別支援教育を基盤として、障害の有無にかかわらず児童生徒が互いの違いや個性を認め合う学校・学級づくりを目指している。</p>
スクールバスの運行	学校へ通学する児童生徒を運送するためスクールバスを運行すると共に原野地区の定期便を共用することにより地域交通にも寄与している。今後も運送を必要とする児童生徒や地域住民が見込まれ、継続して運行する必要があるとともに効率的な運行スタイルを確立する必要がある。マイクロバス 1 台とミニバン 1 台の更新を図った。

長期休業時の学習支援	<p>羽幌小学校において基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指すとともに、個々の希望による自主的な学習の場・機会として「長期休業中の学習サポート（夏スタ・冬スタ）」を実施。</p> <p>その際に教職員の補助的な役割として、地域住民ボランティアによるサポートを得ながら行なっているが、今後も継続的に実施できるように地域住民ボランティアを確保していく必要がある。</p>
体力向上・総合学習の支援	<p>体力向上の取組のため町内各小中学校において、「留萌管内どさん子元気アップチャレンジ」を実施。他校の児童・生徒と記録を競い合うことで、運動習慣の確立に努めた。総合学習の支援として、校外活動として移動する際にスクールバスを配車し、運営を補助した。</p>

(2) 教育環境の整備

事務事業名	事業内容及び点検
羽幌地区教職員住宅の建設	<p>羽小教頭住宅及び羽中教頭住宅の建設を予定していたが、国交付金が不採択となり、建設を見送った。老朽化した住宅が多くあることから引き続き交付金の要望をするとともに、民間活用など交付金に頼らない整備方法も検討する必要がある。</p>
天売地区教職員住宅の改修	<p>2棟4戸の外部改修工事を行い、長寿命化を図った。引き続き他の教職員住宅においても、改修工事を実施し長寿命化を図る必要がある。</p>
複合化施設の基本設計	<p>地域及び行政内での協議を基に基本設計への着手を30年度に予定していたが、焼尻小中学校耐震化との調整に時間が費やされ、その結果、天売複合化施設の整備を優先的に行うこととなったものの、当設計業務は翌年度に先送りすることとなった。</p>
天売高等学校水産実習室設備整備	<p>機能不全となっていた窓の取替修繕、給湯設備等の新規設置、真空包装機の導入、レトルト機の更新を図った。現状における一通りの整備が完了した。</p>

(3) 地域とともにある学校づくり

事務事業名	事業内容及び点検
コミュニティ・スクールの設置	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 47 条の 6 に基づき、羽幌小学校・羽幌中学校の 2 校で一つ、焼尻小学校に学校運営協議会を設置。協議会は一定の権限を持って学校運営に参画することで、地域の子どもの教育に対する課題や目標を学校運営に反映させ「地域と共にある学校」を構築していく。

(4) 教育の質を高められる環境づくり

教職員の指導力向上については、校内外研修・研究を計画的に実行し公開研究を行うなどして意見を求め、改善を図るよう指導・助言を行いました。

留萌教育局の義務教育指導鑑及び指導主事による学校訪問や教育委員会職員の派遣により、各学校の実態に応じ指導・助言を行いました。

(5) 心身ともに健全な人間性と社会性を育む環境づくり

事務事業名	事業内容及び点検
児童生徒の問題行動等	いじめ等の問題行動に適切に対応する指導体制を継続するとともに、児童生徒が自分をコントロールできる力を育むよう指導・助言に努めた。各学校が「児童生徒の問題行動等への取組年間実施計画書」に基づき、いじめの未然防止や不登校への早期対応が適切に行われるよう取り組まれています。 また、各問題に対する相談体制を整え、関係機関との情報共有・連携を図り学校や家庭への支援を行いました。

(6) 高等学校教育の振興と幼児教育の推進

事務事業名	事業内容及び点検
天売高等学校生徒募集事業	学校・地域・行政が一体となって入学者募集活動（オープンスクール、パンフレットの作成、各中学校訪問等）を行った結果、島内から 1 名、島外から 3 名の生徒が入学した。今後も引き続き各機関との連携により生徒を募集していく必要がある。また、入学希望者がいても居住場所が無いことから、女子生徒や受け入れ生徒数に事実上制限が生まれていることが今後の課題である。

羽幌高等学校教育振興会補助事業	羽幌高等学校教育振興会補助事業（魅力ある学校づくり事業）にて、羽幌高等学校生徒に対し資格取得、部活動、学力向上、進路対策への補助を実施したことにより、各種大会で好成績を収めることができた。また、生徒の学習意欲向上及び進路実現への意欲向上が図られた。
天売高校学生寮の開設	天売島外の進学希望者を一定程度受け入れるものとして、平成30年度から寮の運営を開始。天売島出身者を管理人とし施設の運営管理を委託するなど学校・地域と連携した適切な寮の運営管理に努めている。今後も引き続き各関係機関との連携により当校に進学しやすい環境整備及び寮の運営に努める。

（7）学校給食の充実

事務事業名	事業内容及び点検
施設及び設備整備事業	心身の発育における児童生徒へバランスのとれた食事の提供はもちろんのこと、給食センター施設設備の老朽化に伴い更新を行わなければならない所が数か所見受けられる。児童生徒はもちろんのこと調理員などにも安心安全な環境を整えなければならない。

《社会教育》

（1）幼児・青少年教育

事務事業名	事業内容及び点検
子ども自然教室	多様な体験活動を通じて、わが町の自然や歴史について学び、観察し、体感し、親しむことによって豊かな情操や人間性を養い、郷土を愛する心を育むことを目的として開催している。 本年度は年9回開催、延べ194名が参加した。
ほっとクラブ	放課後子ども教室として小学校全学年を対象に月2回程度の範囲で教室を開催している。また、夏休み期間は低学年を対象としたキャンプ事業を実施している。本事業は放課後児童クラブ（こぐま児童会）と連携し、児童の生育環境の充実を図っている。 本年度は年17回開催、延べ328名が参加した。

子ども英会話教室	<p>小学校全学年を対象としたALTによる英会話教室を春夏秋冬休み期間中に実施した。本事業は児童の英会話能力の向上とALT（外国人）との触れ合いを通じて、外国語に親しんでもらうことを目的に開催しているが、次年度から小学校学習指導要領が改訂され、ほぼ全学年において外国語が授業化されることから、当初の事業目的を学校教育上で達成するものと考えられ、次年度に向け事業の見直しが必要である。</p>
優良青少年顕彰	<p>青少年の善行に対する顕彰制度。本年度は羽幌高校生1名が受賞した。</p>
芸術鑑賞事業 (小中高生)	<p>児童生徒を対象に学校及び社会教育が連携し、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで、歴史、伝統、文化に対する理解を深め、尊重する態度や文化芸術を愛好する心情を涵養し、次代を担う児童生徒の豊かな心を育むことを目的として開催した。</p> <p><中高生向け芸術鑑賞> 平成30年7月18日 中央公民館大ホール 11時～12時10分 「大野靖之コンサート（道徳公演）」 鑑賞者数369名</p> <p><小学生向け芸術鑑賞> 平成30年8月28日 羽幌小学校体育館 11時～12時5分 「劇団たんぼぼ～いのちのまつり（児童劇）」 鑑賞者数338名</p>
子どもパトロール 隊・子ども110番 の家	<p>地域住民の自主的な活動による防犯パトロールを実施した。また、通学路を中心に町内事業所の協力を得て、不審者など緊急時に避難できるよう「子ども110番の家」を設置し、子供たちの安心安全な登下校が図られるよう努めた。</p>

(2) 成人教育

事務事業名	事業内容及び点検
成人講座	<p>公民館では、竹細工・陶芸・羊毛クラフト等のものづくり講座や巻き寿司、べこ餅作り、蕎麦打ち体験等の料理講座など、多種多様な分野・内容の講座を実施した。全9講座、延べ108名。</p> <p>講座の開催に当たっては、地域人材の活用や専門講師の協力を得るなど、工夫を凝らしながら取り組んでおり、多様な学習機会を提供できた。</p>

高齢者大学事業 (いちい大学)	高齢者の学びの場として、「いちい大学」を開設。仲間づくりや趣味・教養、健康の維持・増進など、健康で豊かな日常生活を過ごすための多様な講座を開催し、高齢者の社会参加の促進と生涯学習の推進を図った。本年度の大学生は37名。
成人式	新成人に、大人になることの自覚を持ってもらうとともに激励とお祝い場として実施。本年度は新成人47名が参加。
天売高等学校開放講座事業	離島地区成人講座として、天売高校において理科実験、大人のボクササイズ教室、誰でもできる燻製講座を実施した。高等教育機関の専門性や幅広い分野でのノウハウを生かした講座内容となっており、多様な学習機会を提供することで、生涯学習の推進に寄与した。
羽幌高等学校 PTA 地域探訪・教養講座補助事業	PTA地域探訪では参加者34名が旭川市方面を訪問し、雪の美術館や男山酒造等の見学を実施した。PTA教養講座では、パソコン教室・英会話教室、北海道の開拓の歴史講座、楽しい数学教室、野球論講座を開催し、高等教育機関の専門性や幅広い分野でのノウハウを生かした講座内容となっており、これら開催経費に補助支援したことにより、生涯学習の推進に寄与した。

(3) 家庭教育

事務事業名	事業内容及び点検
羽幌町青少年問題協議会	青少年の健全育成のため、青少年の指導、育成、保護及び矯正を図るため協議会を設置。本年度の指導実績はなし。
羽幌町子ども会育成連絡協議会補助事業	子どもフェスティバル、ぼくの主張わたしの主張コンクール、町内かるた大会・留萌管内北部かるた大会の開催に係る経費について支援したことにより、青少年の健全育成の一助とすることができた。
羽幌町 PTA 連合会補助事業	町内の各学校PTAの連携を図り、社会教育・PTA研究大会や管内PTA研究大会等の開催に係る経費について支援したことにより、家庭・学校・地域の教育力向上に寄与した。

(4) 健康づくり、スポーツ活動

事務事業名	事業内容及び点検
総合体育館指定管理事業	本年度より5年間の指定管理業務の3年目に於いて、随時打ち合わせ等を行い、全体的に仕様書及び協定書等の水準は十分に満たしている。特に個人利用者によるランニングコースやトレーニングルームの利用が増加となった。
姉妹都市文化スポーツ交流事業	両町の文化及び体育振興を図るため、姉妹都市（石川県内灘町）との文化・体育交流を実施することで、両町の絆を深め、姉妹都市としての意義を後世に引き継ぐことを目的として実施した。本年度は当町が内灘町に訪問し、昨年に引き続きバレーボール交流（少年団等）を実施した。本交流により両町の歴史や姉妹都市としての絆が深まり、今後も継続して実施していく。
スポーツ教室	<p>参加人数 少年少女水泳教室 合計 93名</p> <p> 幼児水泳教室 合計 33名</p> <p> 水中ウォーキング 合計 15名</p> <p> コーディネーション普及事業 合計 54名</p> <p>コーディネーションは、羽幌町体育協会委託事業にて実施。 各教室のニーズに合った運動の動機づけとなり、実際に体力向上に寄与した。</p>
学校プール開放	<p>羽幌町高齢者事業団委託事業にて実施。</p> <p>利用人数 年間 70日間 合計 1,550名</p> <p>維持管理及び監視業務を確実に遂行し、事故等なく終了することができた。</p>
マラソン大会事業	<p>羽幌町体育協会委託事業にて実施。</p> <p>参加人数 オロロンライン全道マラソン大会 合計 194名</p> <p>参加人数 おろちゃんマラソン大会 中止</p> <p>おろちゃんマラソン大会においては台風 25号の影響により中止となった。</p>
町民スキー場 びゅーまつり	<p>来場者約 500名 スキーリフト利用者 3,119名</p> <p>今年度新たに小学生記録会を開催し、北海道日本ハムファイターズB☆Bも来場し、スキー場の利用拡大のイベントとして寄与した。</p>

おろろんウィンターフェスティバル	おろろんウィンターフェスティバル実行委員会にて実施。 参加人数 合計 250 名 羽幌町内の児童及び生徒を主に冬季の数少ない町のイベントとして実施した。
武道館建替事業	行町・萌州・北一特定 J V により 10 月 24 日に着工し、12 月には杭打ちを行い、現在完成に向けて着々と工事が進んでいる。

(5) 文化活動

事務事業名	事業内容及び点検
文化事業実行委員会補助事業	文化公演（一般向け有料公演）として、「こまどり姉妹～ドキュメンタリー映画&歌謡ショー」を開催した。なお、本公演は天売焼尻芸術劇場を含めた 3 公演連日開催を予定していたが、離島公演のフェリートラブルにより日程が短縮されたことから、公演団体のご厚意により、老人施設 3 ヶ所（特老、萌福祉サービス）の入所者に対して慰問コンサートを実施した。鑑賞者数は羽幌公演 200 人、離島公演各 50 人、施設慰問 200 人、総計 500 人であった。 これら開催経費に補助支援したことにより、町民の芸術・文化に対する関心と日常の活動意欲を高め、文化振興に寄与した。
のびのび子育て公演	未就学児を対象に本年度は絵本読み聞かせサークル「あざらしおはなし会」の創立 30 周年記念公演として、大型絵本、手あそび、パネルシアター、手遊び、大型紙芝居、人形劇などを多様な演目による公演を実施し、子どもたちの情操教育を図ることができた。鑑賞者数は 149 名。
天売焼尻芸術劇場	島民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため、各島において「こまどり姉妹トーク&歌謡ショー」を開催した。なお、当日はフェリーの機関トラブルの影響により、一時公演中止と決定したが、公演団体と協議し、両島公演を同日開催（日帰り）とし、公演時間及び会場等を変更して開催した。優れた舞台音楽を鑑賞することにより、島民の文化芸術に対する関心を高め、文化芸術活動の促進を図るとともに、明日への活力を養うことができた。各島ともに鑑賞者数は 50 名であった。

中野北溟記念室管理	中野北溟氏から書 145 点の寄贈を受け、額装委託先で全書を保管・管理しており、5 年によりすべての額装を完了する計画である。本年度分を含め 131 点の額装が完了し、記念室で展示及び保管している。次年度で額装は最終年度となり、145 点すべての額装が完了となる。本町に所縁のある中野北溟氏の作品を町内外に広く発信することで、文化芸術の促進と地域活性化に寄与している。
町民芸術祭実行委員会補助事業	公民館を拠点として活動している文化サークル団体等の日頃の活動成果を発表する場であり、開催にあたってはこれらの団体で構成する実行委員会による運営が行われており、参加団体間の連携協力や相互理解を深める場にもなっている。芸術祭では舞踊や郷土芸能、写真や絵画など様々な発表・展示を行い、文化芸術活動の推進に寄与した。
芸術鑑賞バスツアー事業	道立近代美術館主催のブリヂストン美術館展（12 名）、京都国立近代美術館名品展（10 名）を鑑賞し、町民への優れた芸術文化の鑑賞機会の提供に寄与した。
羽幌町郷土芸能団体保存育成補助事業	郷土芸能 9 団体に対して備品整備及び各種発表会等の経費に補助支援したことにより、郷土芸能の保存と振興及び後継者の育成に寄与した。
公民館大ホール舞台照明設備更新事業	大ホールの舞台照明工事として前年工事（デジタル照明卓等整備）に引き続き、当年度は主幹盤、調光器盤の心臓部をデジタル機器に対応する基盤に更新、照明吊物バトンの増設工事、全てのスポットライト等の照明器具を従来の白熱灯から LED 又はハロゲンタイプに更新した。本工事により舞台照明における演出効果が大幅に向上したことから、大ホール利用による機能性及び利便性の向上が図られた。

（6）読書活動

事務事業名	事業内容及び点検
ブックスタート事業	町内の乳幼児 9 ヶ月検診時に、ファーストブックとトートバッグ等をプレゼントし絵本の読み聞かせによる子育て支援を行っている。

おはなし会補助事業	あざらしおはなし会の活動補助。毎月定期的な公民館図書室でのおはなし会の開催や町内の施設等での出前おはなし会の開催、図書室の読書活動推進事業への協力により読書活動推進に寄与している。
学校図書館ブックフェスティバル事業	羽幌小学校で開催。道立図書館の支援事業を活用し、学校との連携により児童への読書活動の活性化を進めている。
セカンドブック事業	小学校新1年生にセカンドブックをプレゼントすることにより、子どもの自発的な読書活動を支援し、図書室の利用促進を進めている。
学校図書館連携事業	学校訪問、システムによる蔵書の管理・装備を行い、学校図書館の環境整備を図り児童生徒の利用促進、読書活動を支援している。
読書感想文コンクール	町内小中学校の協力のもと夏休みの課題として取組み、入賞者を表彰。最優秀賞作品は全道コンクールへ出品している。読書の感動を文章で表現し、作品の発表を行うなど子どもたちの貴重な体験の場となっている。
図書室講座事業	今年度は児童を対象に「ハンドメイド講座」を開催。図書室資料の利活用を進めている。

4 参考資料

平成 30 年度 羽幌町教育行政執行方針

■ はじめに

少子高齢化やグローバル化、技術革新の進展など、社会の変化は、今後、ますます大きく変わることが予想され、正確に予測することが難しい状況となっています。

このような社会の変化に対応し、地域の成長・発展を目指していくためには、住民一人一人が、主体的に地域に関わり、将来を見据え、地域と協働しながら成長・発展を支え、また、一人一人が活躍でき、豊で安心して暮らせる地域の実現が必要になります。

そのためには、教育を通じ、新しい時代を切り拓く知識と意欲を持った心豊かでたくましい人材を育成し、主体的に地域に関わるための基礎・基本を学校・地域が連携・協働して保障していくことや、互いに助け合いながら困難の解決に向けて行動することを促すことが重要となります。

このため、学校教育においては、これまでの実践や蓄積を活かし、「子どもたちが未来社会を切り開くための資質・能力の一層確実な育成」、「知識の理解の質をさらに高めた確かな学力の育成」、「道德教育の充実などによる豊かな心・健やかな体の育成」を基本的な考え方とし、平成 29 年 3 月に学習指導要領の改正が実施されました。

従来より取り組んできた「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」からなる『生きる力』の現代的な意義を捉え直し、育成すべき資質・能力について、「何を理解しているか、何ができるか」、「理解していること・できることをどう使うか」、「どのように地域社会と関わり、よりよい人生を送るか」の三つの柱で「主体的・対話的で深い学び」を実現する中で、確実に育成を進めていくことが重要となります。

また、社会教育においては、地域の持続的な成長・発展のため、個人の得意な分野や個性に応じて地域の様々な場所においてリーダーシップを発揮できるよう、個性や能力を伸ばしていくことが不可欠であり、また、これまで以上に一人一人が活躍することが必要なことから、全ての人が継続して学習できる環境を整備することが重要となり、さらに、学び続けるためには、心身の健康の保持増進が重要であり、スポーツは健康長寿社会の実現に貢献することからも、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境の整備も重要となります。

羽幌町教育委員会といたしましては、学校教育、社会教育が連携を図り、社会の変化に対応した教育行政の推進に取り組みます。

■ 学校教育

1 教育を推進するための条件整備

各学校においては、学力・体力の向上を視野に朝読書や朝学習、個別指導・習熟度別指導、新体力テストの実施など積極的に取り組まれています。

このため、教育委員会としても指導しやすい条件整備として、ソフト、ハード両面から、学校現場に視点を置いた改善に努めます。

【主な事業】

(継続) 情報通信機器を有効活用した多様な学習の展開、学校図書を整備及び活用の推進、義務教材・理科教材の整備、英語指導助手の配置、特別支援教育の支援、スクールバスの運行、長期休業時の学習支援、体力向上・総合学習の支援

2 教育環境の整備

学校施設は、子どもたちの学習と生活の場であると同時に、地域住民の学習の場としても活用されています。

各学校の施設及び設備、教職員住宅につきましては、緊急度を勘案しながら計画的な整備・改修を進めます。

また、天売高等学校と地域の公共施設との複合化については、基本設計に着手し、準備を進めます。

【主な事業】

(新規) 羽幌地区教職員住宅の建設、天売地区教職員住宅の改修、複合化施設の基本設計、天売高等学校水産実習室設備整備（真空包装機、レトルト機の取替）

3 地域とともにある学校づくり

子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭、地域、行政、それぞれが連携することが重要であり、学校の教育活動や学校運営の状況を積極的に保護者、地域住民等へ情報提供するとともに、「開かれた学校」から更に一步踏み出し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指し、取組を進めます。

【主な事業】

(継続) コミュニティ・スクールの設置

4 教育の質を高められる環境づくり

学校が、教育機能を十分発揮するためには、管理職を含む教職員が組織的な連携のもと、常に資質・能力の研鑽に努め、自らの役割を的確に果たすことが重要です。このため、求められている専門職としての知識や能力の向上を図るための研修機会を提供するとともに、学校及び教職員の多岐にわたる業務を改善し、授業や授業準備など、本来業務に集中できる時間の確保により、教職員が持っている能力を最大限に活かすことができる環境づくりを推進します。

5 心身ともに健全な人間性と社会性を育む環境づくり

児童・生徒が心身ともに健全な人間性と社会性を育むためには、規則正しい生活習慣の育成と問題行動を未然に防止することが重要です。

生活習慣の育成については、児童・生徒の生活リズムの向上に向け、「早寝・早起き・朝ごはん」運動を再認識し、朝食をとらずに登校することなどがないよう、家庭や学校、地域と連携し、運動の継続を進めます。

児童・生徒の問題行動については、近年、暴力行為、いじめ、不登校と併せて、インターネットによるトラブルが複雑化の傾向にあり、このトラブルがいじめ、不登校などの原因となっている場合も考えられ、早急な対応が求められています。

これらの問題行動を未然に防止するためには、児童・生徒の小さな変化を見逃すことなく捉えることが重要であり、学校、家庭、地域、行政が連携し、情報の共有化を図り、問題解決に向けた指導及び支援体制の整備に努めます。

6 高等学校教育の振興と幼児教育の推進

天売高等学校は、夜間定時制普通科の高校ですが、進学、就職に備えた修学形態のもと、きめ細やかな教育に加え、水産資源を活用した製造実習、年度ごとにテーマを掲げた研究など、地域と連携した特色のある教育を実践しています。

今後とも、教育環境の充実を図り、計画的な管理を進めるとともに、課題となっております入学者の確保に向け、学校、地域、行政が一体となって取り組みを進めます。

羽幌高等学校は、生徒の多様な進路に適合した教育課程を編成し、日頃から地域の期待に応える学校づくりが推進されています。今後も、同校の進める魅力ある学校づくりに対して、資格取得、部活動、学力向上、進路対策への支援を継続するとともに、通学費、入学支度に係る費用の支援を継続し、より一層、地元高校への志向が高まるよう努めます。

幼稚園教育については、私立幼稚園・認定こども園とも、それぞれの特色を活かした教育活動が推進されており、教育活動を継続して支援します。

【主な事業】

(継続) 天売高等学校生徒募集事業、羽幌高等学校教育振興会補助事業

(新規) 天売高校学生寮の開設

7 学校給食の充実

学校給食は、児童・生徒の健全な成長に必要となる栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、日常生活における正しい食事のあり方や望ましい食習慣の形成、食に対する感謝の心など、多くの要素が含まれることから、食育の教育として指導に努めます。

また、施設運営につきましては、離島地区も含め衛生面や調理場内の環境改善はもとより、計画的な施設や調理機器の整備や更新を進め、今後とも、地産地消として可能な範囲で特産品を食材に取り入れながら、アレルギー対策はもちろんのこと、使用食材の選定や衛生管理などにも万全を期し、安心安全な学校給食の提供に努めます。

【主な事業】

(継続) 施設及び設備整備事業（グラウンドケトルの取替、蒸気ボイラー修繕など）

■ 社会教育

1 幼児・青少年教育

ひとりでも多くの子どもたちが健やかに成長するためには、地域全体で子どもを育てていくことが重要となります。

子どもたちの様々な体験活動やスポーツ・文化活動への関心を助長し、向上心や主体性を培う活動を支援します。

今年度も、子ども自然教室において天売島でのキャンプを計画し、地元の自然にふれ、地域の現状を知る機会を作っていきたいと考えています。

また、中高生を対象に「道德教育」をテーマにした公演を開催します。

【主な事業】

(継続) 子ども自然教室、ほっとクラブ、子ども英会話教室、優良青少年顕彰、中高生講演事業、子どもパトロール隊、子ども110番の家

2 成人教育

日々の生活の中に「うるおい」や「喜び」の提供や、「人生の生きがい」を見いだす一助となるよう、「成人講座」の開設など、今後も多くの学習機会の提供や自主的なサークル活動への支援を行います。

また、60歳以上の方を対象とした「いちい大学」においては、健康で明るい生活を築く学びの機会を提供するとともに、生きがいつくりと社会参加の促進を図ります。

【主な事業】

(継続) いちい大学、成人講座、成人式、天売高等学校開放講座事業、羽幌高等学校PTA地域探訪・教養講座補助事業

3 家庭教育

すべての教育の原点である家庭教育は、基本的な生活習慣や、他人に対する思いやり、社会的なルール、学習に対する意欲や態度などの基礎を培う重要な役割を担っています。

家庭の教育力向上には、その中心となる親が子どもの教育を行うための知識・技能と態度について学ぶことが必要であり、また、親と子どもの成長を社会全体で支えることが必要です。そのための学習機会や情報の提供を、これまでと同様に行います。

【主な事業】

(継続) 羽幌町青少年問題協議会、羽幌町子ども会育成連絡協議会補助事業、羽幌町PTA連合会補助事業

4 健康づくり、スポーツ活動

スポーツは、体力向上や生活習慣病の予防など心身ともに健康で充実した生活を送るためには欠かせないものです。

今後もだれもが気軽にスポーツ活動に親しみ、参加できる環境の充実を図ります。

また、子どもから高齢者までを対象にこれまで実施してまいりました「コーディネーショントレーニング」を取り入れた運動を、今年度からさらに重点的に羽幌町体育協会と連携し、活動を推進します。

施設面では、懸案事項でありました武道館の建替えについては、来年度の完成に向け計画的に準備を進めます。

【主な事業】

(継続) 総合体育館指定管理事業、姉妹都市文化スポーツ交流、スポーツ教室(コーディネーショントレーニング、水泳・水中ウォーキング)、学校プール開放、マラソン大会事業、町民スキー場びゅーまつり、おろろんウィンターフェスティバル

(新規) 武道館建替事業

5 文化活動

芸術文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらすとともに、心豊かな活力ある社会形成にとって極めて大きな意義があります。

文化・芸術活動の拠点である中央公民館においては、昨年度に引き続き今年度も舞台照明設備の更新工事を実施し、老朽化が進んでいる設備の更新を適切に進め、鑑賞や発表の場を引き続き提供します。

また、公民館旧館の建替え事業については、基本計画策定に向けた検討組織を設置する計画であり、早い時期に素案をまとめたいと考えています。

【主な事業】

(継続) 文化事業実行委員会補助事業、のびのび子育て公演、少年少女芸術鑑賞事業、離島地区芸術劇場、中野北溟記念室管理、町民芸術祭実行委員会補助事業、芸術鑑賞バスツアー、羽幌町郷土芸能団体保存育成補助事業

(新規) 公民館大ホール舞台照明設備更新事業 (調光盤・照明器具)

6 読書活動

近年、情報メディアの発展により、読書に関する環境は大きく変化しており、「読書離れ」が指摘されています。とくに子どもたちにおいては、かけがえのない一冊の本との出会いは、豊かな人間性と豊かな生き方を身につけるうえで大変重要であると考えています。

ブックスタート・セカンドブック事業等、子育て支援や各学校図書館と連携し、年齢に対応した事業を展開し読書活動推進の取り組みを進めます。

また、生涯学習の場として利用者に寄り添い、地域に根ざした身近で利用しやすい公民館図書室の充実を図ります。

【主な事業】

(継続) ブックスタート事業、おはなし会補助事業、学校図書館ブックフェスティバル事業、セカンドブック事業、学校図書館連携事業、読書感想文コンクール事業、図書室講座事業

以上、「第6次羽幌町総合振興計画」及び「羽幌町教育大綱」を踏まえ、平成30年度の羽幌町教育行政執行方針を申し上げます。その執行にあたりましては、学校教育、社会教育、各関係機関、団体等と密接な連携を図りながら、本町教育の振興発展に努めます。